

# へキルギス をいす車

県内の中学生を東京都の在日外国大使館に派遣する事業などを手掛けている公設国際貢献大学校（新見市哲多町田淵）が、交流のあるキルギス共和国大使館からの依頼で、大人・子ども用の車いす百台の提供を計画、市民らに協力を呼び掛けている。（赤井康浩）

## 新見の公設国際貢献大学校

# 大使館要請で支援

大人用60台  
子ども用40台  
市民らに提供訴え

中央アジアに位置する同国は十五年前、旧ソビエト連邦崩壊で誕生。同

きっかけに始まった。これまで、大使館は、ビザ発給などの業務体験を通じて国際感覚を身につけてもらおうと夏休み中の中学生を同国大使館に派遣。同国からは県を通じて研修医を受け入れるなど、相互交流を続けている。

同国では福祉施設整備が進む一方、車いすの数が著しく不足していると。クタノフ大使から同大学校は、企業や団

体的野秀利校営管理者は「使用可能であれば、中古品でも構わない。提供していただける方は連絡して」と話している。

問い合わせは、同大学校救済室（0867-962062）。

車いす購入費に充てる募金の郵便局振込口座は、1390-4193879「ももたろ

う国際救援隊」。通信欄に「キルギス共和国支援事業」と記入のこと。

学生ら11昨年8月

